

平成 22 年度

## 神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

## Ⅲ 数 学

## 注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は 問 6 まであり、1 ページから 6 ページに印刷されています。
- 3 計算は、あいているところを使い、答えは、解答用紙の決められた欄<sup>らん</sup>に書き入れなさい。
- 4 答えに根号がふくまれるときは、根号の中は最も小さい自然数にいなさい。  
また、分母に根号がふくまれるときは、分母に根号をふくまない形にしておきなさい。
- 5 答えが分数になるとき、約分できる場合は約分しておきなさい。
- 6 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問1 次の問いに答えなさい。

(ア)  $4^2 \div (-6)^2 \times \left(-\frac{81}{8}\right)$  を計算しなさい。

(イ)  $\frac{13}{\sqrt{3}} - \frac{\sqrt{5}}{\sqrt{15}}$  を計算しなさい。

(ウ)  $(a+5)^2 - (a+3)(a-2)$  を計算しなさい。

(エ) 2次方程式  $(x+2)(x-2) = 6x+12$  を解きなさい。

(オ) 次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 5(x-y) = 7x+11 \\ x + \frac{1}{3}y = 1 \end{cases}$$

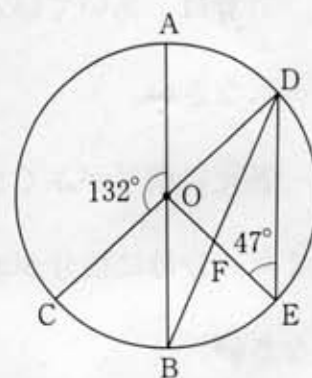
(カ) 関数  $y = ax^2$  について、 $x$ の変域が  $-2 \leq x \leq 4$  のとき、 $y$ の変域は  $-8 \leq y \leq 0$  である。このとき、 $a$ の値を求めなさい。

(キ) 右の図1において、線分 AB と線分 CD はともに円 O の直径であり、点 E は円 O の周上の点である。

また、点 F は線分 OE と線分 BD との交点である。

$\angle AOC = 132^\circ$ 、 $\angle OED = 47^\circ$  のとき、 $\angle OFB$  の大きさを求めなさい。

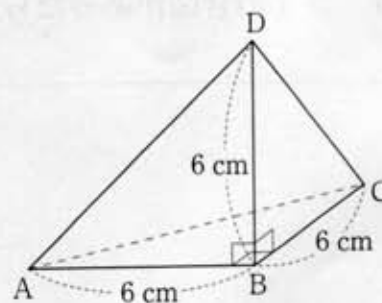
図1



(ク) 右の図2は、 $AB = BC = 6$  cm、 $\angle ABC = 90^\circ$  の直角二等辺三角形 ABC を底面とし、点 D を頂点とする三角すいである。また、 $BD = 6$  cm、 $\angle ABD = \angle CBD = 90^\circ$  である。

この三角すいにおいて、三角形 ACD を底面とし、点 B を頂点としたときの高さを求めなさい。

図2



問2 右の図において、点Oは原点であり、曲線①は関数  $y = \frac{1}{3}x^2$  のグラフ、曲線②は関数  $y = ax^2$  のグラフである。ただし、 $a < 0$  とする。

2点A, Bはともに曲線①上の点で、点Aのx座標は3であり、点Bのx座標は-4である。

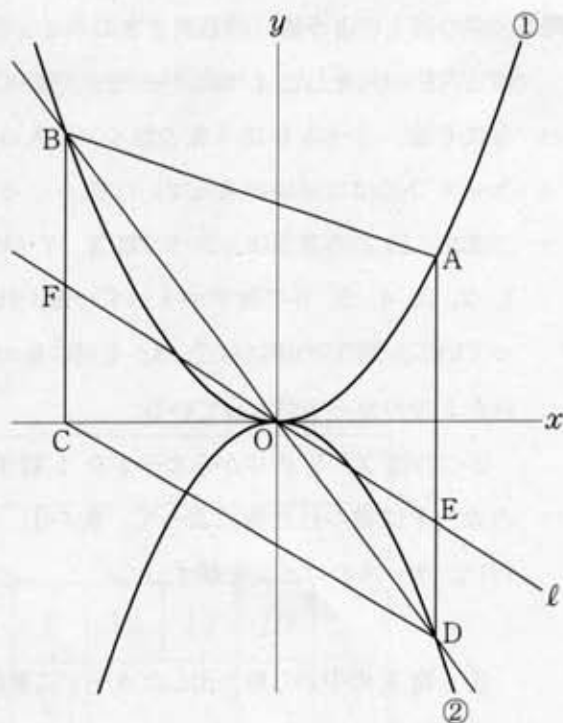
また、点Cはx軸上の点で、線分BCはy軸に平行である。

さらに、点Dは曲線②と直線OBとの交点で、線分ADはy軸に平行である。

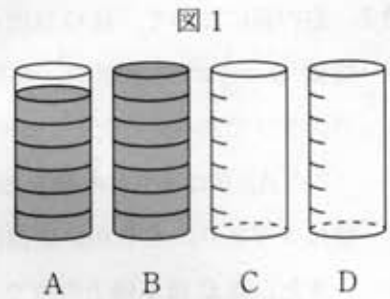
このとき、次の問いに答えなさい。

(ア) 曲線②の式  $y = ax^2$  のaの値を求めなさい。

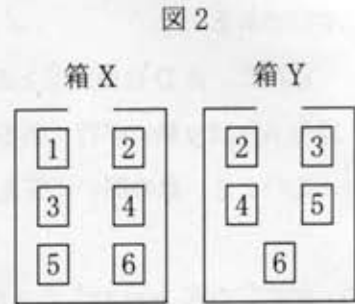
(イ) 直線  $l$  は、原点Oを通り、線分AD、線分BCとそれぞれ点E、点Fで交わっている。台形CDEFの面積が台形ABCDの面積の  $\frac{3}{8}$  倍のとき、直線  $l$  の傾きを求めなさい。



問3 右の図1のように、同じ大きさのコインがちょうど7枚入る、同じ円柱の形をした4つのケースA, B, C, Dがあり、ケースAに6枚、ケースBに7枚のコインが入っていて、ケースCとケースDにはコインが入っていない。



また、図2のように、2つの箱X, Yがあり、箱Xの中には1, 2, 3, 4, 5, 6の数字が1つずつ書かれた6枚のカードが入っていて、箱Yの中には2, 3, 4, 5, 6の数字が1つずつ書かれた5枚のカードが入っている。



2つの箱X, Yの中からカードを1枚ずつ取り出し、それらのカードに書かれた数によって、次の①, ②の操作をこの順に行い、ケースのコインを移す。

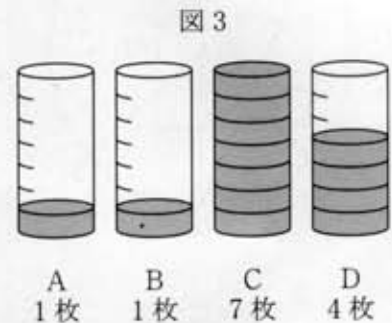
- ① 箱Xの中から取り出したカードに書かれた数を  $x$  として、ケースAからケースCに  $x$  枚のコインを移す。
- ② 箱Yの中から取り出したカードに書かれた数を  $y$  として、ケースBからケースCに  $y$  枚のコインを移す。ただし、ケースCのコインが7枚となったときは、 $y$  枚のうち残りのコインをケースDに移すこととする。

例

箱Xの中から取り出したカードに書かれた数が5, 箱Yの中から取り出したカードに書かれた数が6のとき、 $x=5$ ,  $y=6$ なので、

- ① ケースAからケースCに5枚のコインを移す。
- ② ケースBからケースCにコインを移す。このとき、6枚のうち2枚のコインを移すとケースCのコインが7枚となるので、残りの4枚をケースDに移す。

この結果、各ケースのコインの枚数は図3のようになる。



いま、図1の状態、図2の2つの箱X, Yの中からカードを1枚ずつ取り出すとき、次の問いに答えなさい。ただし、それぞれの箱の中からどのカードが出ることも同様に確からしいものとする。

- (ア) ケースDに入っているコインが1枚となる確率を求めなさい。
- (イ) ケースAとケースDに入っているコインの枚数が同じになる確率を求めなさい。

問4 1辺の長さが1 cm の正方形の白いタイルを、重ならないようにすき間なくしきつめて、1辺の長さが  $n$  cm の正方形をつくる。できた正方形の四隅にあるタイルを反時計回りに順に、A, B, C, Dとする。

次に、しきつめたタイルのうち、4つの辺がすべて他のタイルと接しているタイルを、他のタイルが動かないようにすべて取り除く。この状態で、自然数を1から順に、Aから反時計回りに1つのタイルに1つずつ、すべてのタイルに書き入れる。このとき、A, B, C, Dのタイルに書かれている数を、それぞれ  $a, b, c, d$  とする。ただし、 $n$  は3以上の整数とする。

次の表は、 $n=3, n=4$  のときの図の例と  $a, b, c, d$  の値をそれぞれ示したものである。

$n$ の値	3	4																									
図の例	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1</td><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table>	1	8	7	2		6	3	4	5	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td>9</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td>8</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> </table>	1	12	11	10	2			9	3			8	4	5	6	7
1	8	7																									
2		6																									
3	4	5																									
1	12	11	10																								
2			9																								
3			8																								
4	5	6	7																								
$a, b, c, d$ の値	$a=1, b=3, c=5, d=7$	$a=1, b=4, c=7, d=10$																									

このような方法で、タイルに自然数を書くとき、次の問いに答えなさい。

(ア)  $d=19$  のとき、 $n$  の値を求めなさい。

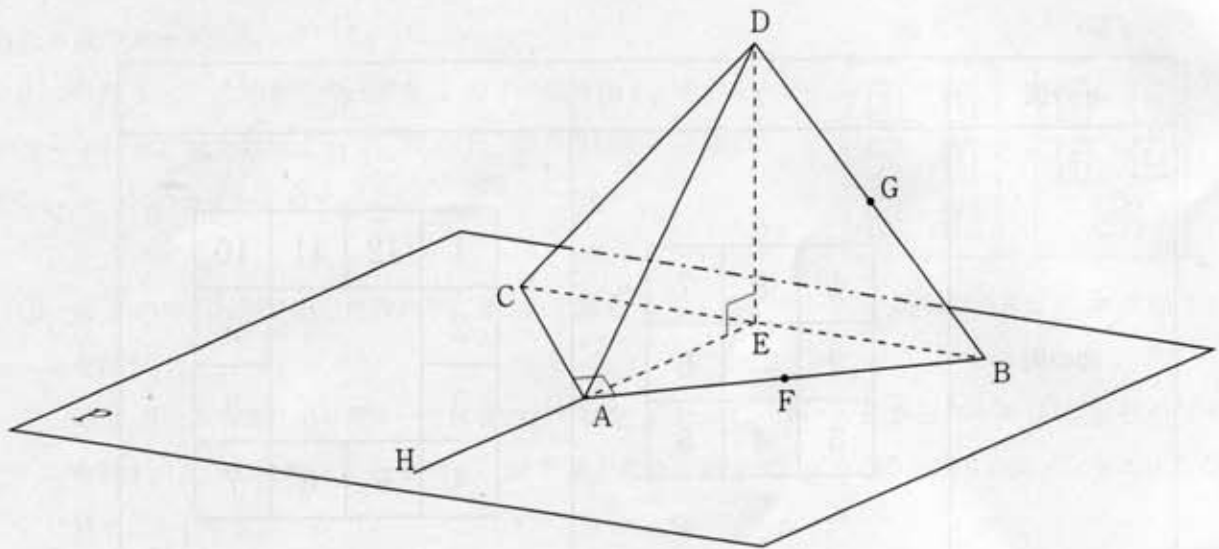
(イ)  $ab+cd=1094$  のとき、 $n$  の値を求めなさい。

問5 下の図のように、 $AB = AC = 4\text{ cm}$ 、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形  $ABC$  を底面とし、点  $D$  を頂点とする三角すいが、平面  $P$  上に置かれている。 $BD = CD = 4\text{ cm}$  であり、点  $E$  は線分  $BC$  の中点で、 $\angle AED = 90^\circ$  である。

また、点  $F$  は線分  $AB$  の中点であり、点  $G$  は線分  $BD$  の中点である。

さらに、点  $H$  は線分  $EA$  を点  $A$  の方向に延ばした直線上の点で、 $EA = AH$  である。

このとき、あとの問いに答えなさい。



(ア) この三角すいにおいて、点  $I$  は線分  $CD$  上を動く点である。

線分  $AI$  の長さ と 線分  $EI$  の長さ の和が最も小さくなるとき、この2つの線分の長さの和を求めなさい。

(イ) この三角すいにおいて、点  $J$  は線分  $AC$  上を動く点であり、直線  $HJ$  と線分  $BC$  との交点を  $K$  とする。

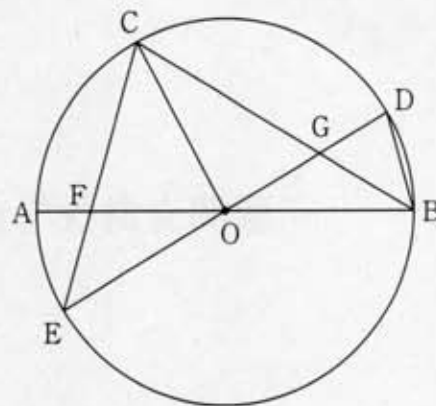
点  $J$  が線分  $AC$  の中点になるとき、三角形  $FGK$  の面積を求めなさい。

問6 右の図のように、線分 AB を直径とする円 O の周上に、2 点 A, B とは異なる点 C を  $\angle AOC$  が鋭角となるようにとり、点 A をふくまない  $\widehat{BC}$  上に点 D を  $\angle BOD = \frac{1}{2}\angle AOC$  となるようにとる。

また、線分 DO の延長と円 O との交点で、点 D とは異なる点を E とする。

さらに、線分 AB と線分 CE との交点を F、線分 BC と線分 DE との交点を G とする。

このとき、三角形 CFO と三角形 BDG が相似であることを証明しなさい。



(問題は、これで終わりです。)